

## 11403電子機器用・通信機器用部品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	8~9	被災者は、当社工場内で塗装作業をしているとき、コンベアで吊して動いている塗装品が、次々と作業架台に当たっていき、作業架台がぐらつき、支えようとしたが間に合わず、被災者の右足甲部分に倒れてきた。原因は、普段より作業架台の場所がコンベアに近かったためである。	44	5	379	10~ 29
2	2017	12	11~12	事業所建屋外の洗濯機置き場で手袋等の洗濯中、足元の散水用ホースのたわみに足が引っかかり、前のめりに転倒した。その際、咄嗟に右手で体をかばったが、右手小指を強打し骨折した。	66	2	379	50~ 99
3	2017	12	17~18	駐在している工場に隣接する駐車場にて、駐車していた自身の車両後方から運転席側に歩いている際、照明は届いていたが、足元は車両または自身の影が影響して車止めに気がつかず、躓いて転倒した。	45	2	419	500 ~ 999
4	2017	12	8~9	オフィス内にて、朝のラジオ体操を行っていた際、周囲の人と手が当たりそうになったため、体操をしながら横に移動した際、椅子の脚に引っ掛け転倒し、受傷した。	56	2	417	1000 ~ 9999
5	2017	12	21~22	生産棟（A3棟）着荷場で、シート運搬台車を降ろす作業をしていた。1台目を降ろし、2台目を降ろす際に、荷台コンテナのストッパーが上がっておらず、それに気が付かずにコンテナ内から台車を引き出した時に、そのまま台車が落下し、台車の持ち手をにぎっていた指（手）が、着荷場に設置してあった廃	51	6	362	1000 ~ 9999

				棄物コンテナに挟まり、被災した。 ※センサー（昇降台）の安全機能が破損していた。 ※ストッパーロックが何らかの原因でかかっていた。				
6	2017	12	11~12	工場クリーンルーム内で、二段式の踏み台にのって装置の清掃作業中、作業を終えて踏み台から降りる際、後ろ向きで降りたため、1段目の踏み台から足を踏みはずし、そのまま後方へ落下し、後頭部を床にぶつけ、打撲した。	54	1	371	1000 ~ 9999
7	2017	12	11~12	当社工場内にて高所清掃中、バランスを崩し脚立中段より落下し、腰を打撲した。	78	2	371	1~9
8	2017	12	21~22	会社敷地内の駐車場で帰宅途中に、路面が凍結しており足を滑らせ転倒し左上腕を骨折した。	41	2	417	—
9	2017	12	13~14	訪問した病院内で麻酔器の点検の為、作業所まで他の1名と廊下を移動していた。進行方向の前側を受け持っていたが、停止する際にキャスターとキャスターの間のフレーム部分が右足踵に乗り上がってしまい、踵部分を裂傷した。	51	6	362	1~9
10	2017	11	16~17	半導体製造工程において、作業終了後、建屋1F出入口より退出しようとしたところ、玄関滑り止めマットに躓き前のめりになり転倒し、1F出入口下り階段の角に右膝を強打し負傷した。	53	2	417	500 ~ 999
11	2017	11	11~12	エンジン組立職場へ部品を供給するための自動運搬車にハウジングと呼ばれる部品（20kg程度・円盤状）を積み込む際に、部品の向きを間違えたため向きを変えるために部品を回転させた時に、両手が交差する姿勢になり部品を保持できなくなり手から落として被災した。	34	4	521	100 ~ 299
12	2017	11	3~4	工場内で、スモッグルーム出入口下駄箱で靴に履き替えていた。靴を履ききっていないにもかかわらず、脇見をして、左足を踏み出し右足を踏み出した時、バランスを崩して転倒し負傷した。	61	2	417	100 ~ 299

13	2017	11	23~ 24	当社の成形現場（アニール作業エリア）にて、アニール製品取り出し用の昇降台車から運搬用平台車に製品（約50kg）を乗せ換える作業をしていた。同僚と二人で合図を出しながら製品（約50kg）を持ち上げ、運搬用平台車に乗せようと、腰を曲げる姿勢を取ることとなった。定常的に行われている作業であり、被災者は特別に不安全とは感じなかったが、以前から腰に若干の痛みを抱えており、この時の作業を発端に腰の痛みが激しくなり、夜勤であったことから当日の受診はせず、翌日病院に行った。	35	19	611	300 ~ 499
14	2017	11	17~ 18	工場作業エリア内において、チューブの配線をしていた。誤ってチューブカッターを握ってしまい右手人差し指を切傷した。	40	8	364	50~ 99
15	2017	11	16~ 17	受注した部品の加工中に発生した。生産工程はGT→ベンダーの2工程、製品が細長い形状のため曲げ長さの短い右側は安全手工具で押さえ、左側を左手人差し指先端でバックゲージに押し付けていたが曲げ加工中に左側パンチ側面と製品端面に押さえていた人差し指先端右側面を挟まれた。	53	7	154	50~ 99
16	2017	11	13~ 14	工場内において約2tの電動機を天井クレーンにて移動作業中、右手で操作用ペンダントを持ち、左手で吊りワイヤーを掴み、荷上げを行ったところ、左手中指が、ワイヤーと吊り荷の間に挟まれ受傷した。クレーン操作に気を取られ、左手の状態に注意が疎かになっていた為と思われる。もう1名の玉掛け作業者も左手の状態に気付かず回避出来なかった。	38	7	211	1~9
17	2017	10	11~ 12	2階作業場において、ゲーム用ソフトのシール貼り、製品の補充が終わり、次にキャラメル包装を行うため、キャラメル包装工程に向かって移動しようとしたが、足元近くに置いてあったパレットに蹴躓いて、転倒し左足のすねを骨折した。	57	2	379	50~ 99
				機械操作作業中に吸着エラーが発生したため、それを解除しよ				100

18	2017	10	22～ 23	うと装置が停止していないのに裏側の扉を開け手を入れてしまったところ、可動部分に、右手を挟まれた。	20	7	167	～ 299
19	2017	10	12～ 13	当社工場内において、始業時（当人は午後勤務）に作業場に向かって早足で歩いているとき、通路上で方向転換（左折）しようとしたところ、右足をくじき、甲の骨を剥離骨折した。  （通路上に障害物や段差はなく、水平だった。）	57	19	417	50～ 99
20	2017	10	15～ 16	第二工場内でNC旋盤作業工程にて、ワーク（材料）を加工治具（ワークを挟む為、3個爪）にて、セットする際に右手でワークを3個爪で押さえた時に爪に指がかかっているかを確認しないでペダルで3個爪を固定してしまった。すぐに固定を解除したが、すでに指の爪（右手人差し指）がはがれ皮膚も裂かれた状態になり、指の接合は無理で右手人差し指の第一関節で切断と診断された。	46	7	151	10～ 29
21	2017	10	3～4	着荷場に空リール端子箱を平台車で運搬し端子空箱を指定の場所に積み上げた。平台車が8段溜まったため、資材エリアに平台車を移動しようと背面に移動し運搬した。平台車運搬時に横に積み上げている特大リール梱包箱が倒れてきて、その弾みで尻もちをつき、倒れてきた特大リール梱包箱が左足脛にあたった。	33	5	611	300 ～ 499
22	2017	10	19～ 20	積層小型レイアップ工程にて、作業テーブルから上段／下段が二段式の完了製品搬出用コンベア装置に製品を移載する作業を行っていた。装置は3つのスイッチ操作（上段／下段／下降）で作業テーブルを上下させる仕組みだが、被災者は下段を選択したつもりで上段スイッチを押して作業をしていたため、下段側に製品を挿入している際に作業テーブルが上昇し、キャリアプレートと装置開口枠間に両手の人差し指と中指を挟んだ。	48	7	169	500 ～ 999
				工場内製造現場（クリーンルーム）でスプレーポンプの部品加				

23	2017	10	16～ 17	工の為（ターンテーブル式）に部品をセット作業中、部品が斜めになったのでこれを修正しようとしたところ、指がターンテーブルに引っ掛かり、指を抜いたが製品と底蓋圧冶具の間に指が挟まり、左手人差指先部分を受傷した。	61	7	169	100 ～ 299
24	2017	10	16～ 17	NC作業中、フランジチャックキズが発生した為、主軸を回転させペーパーをかけている際、右手がチャックに触れたことで驚き、右側の刃物に当たって薬指を負傷した。	31	8	151	30～ 49
25	2017	9	10～ 11	チップ受け入れ工程にて受け入れる製品を直立して待機していた、待機中、急に目の前が暗くなり、咄嗟に両手で後ろのパイプを掴もうとしたが、力が入らずそのまま前方へ倒れた。床に倒れた際に両手をついたが、前方に設備イレクターパイプがあり接触して左顎部を被災した。意識が無くなってからのことは覚えておらず、気付いた時には左顎から出血していた。	33	3	419	100 ～ 299
26	2017	9	17～ 18	AC棟1Fの部材置場にて部材整理を行っていた、段ボール3箱（3段積み）の移動・積み替え作業で最下段にあった段ボールを移動させようとした際に、部材を置いていたコンテナに左足つま先が引っ掛かり、部材を持ったまま体勢を崩して左膝を床に打ち付け、左大腿部を骨折した。	33	2	419	300 ～ 499
27	2017	9	23～ 24	バスバーAssy目止め作業中に、接着剤が通常より出が悪いと感じた為、接着剤が入っているアルミ製カートリッジホルダーの予備を予熱炉（120℃）にて温め、約15分後交換しようとして予熱炉からカートリッジホルダーを取り出した際、カートリッジホルダーと腕が接触したものである。	38	11	379	30～ 49
28	2017	9	15～ 16	出荷場所で出荷準備の立ち作業中に、台車に通函箱を乗せて移動中の他の作業者が背後からあたった。	37	6	362	30～ 49
29	2017	9	14～	当社作業場内において、パワーリフトを移動させようと引っ張ったときに、後ろに置いてあった箱に足が当たり、後ろに転倒し尻餅をついたときに負傷した。しばらくすれば痛みが引	58	2	417	30～

			15	くたろうと自宅静養していたが、なかなか痛みが引かないため受診した。				49
30	2017	8	13~ 14	高さ80cmの所に置いてある、材料の入ったダンボール箱（1辺40cm前後のほぼ立方体、重量6kg程度）を、使用材料置場へ移動させようと持ったときに、左肩と腰を痛めた。	45	19	921	30~ 49
31	2017	8	11~ 12	工場内道路を自転車で走行中、道路を横断するグレーチングに幅35mmの隙間があり、自転車の前輪が引っ掛かり、バランスを崩して転倒した。そのときに右足首を捻って倒れ、右足首を骨折した。被災者は、ヘルメット・安全靴を着用していた。	28	2	362	300 ~ 499
32	2017	8	8~9	更衣室（2階）から作業場（1階）に向かう階段を降りている際に、最後の一段を踏み外し、右足甲を捻り捻挫した。	34	2	413	100 ~ 299
33	2017	8	13~ 14	部材置場の表示板位置を直し終えて部材が置いてある場所から移動しようとした時、パレットに足がひっかかり転んで床に手をついたら右肩を脱臼骨折した。	50	2	417	500 ~ 999
34	2017	8	16~ 17	印刷作業開始時に、スクリーン版をフレームに固定する作業を行っていた時に、フレーム固定用のロックピン部分に手を置いた為、下降したフレームの固定部とスクリーン版の固定部に右手人差し指が挟まれた。	54	7	166	300 ~ 499
35	2017	7	15~16	会社内で成形作業中に、ラックモーターの修理をしようとした時に、成形機と横走行取出機を停止させずに、作業をしたため、後頭部とおでこをぶつけてしまった。	57	6	169	100 ~ 299
36	2017	7	9~10	レーザー作業中、作業台に置いてあるレーザーの加工材料にひっかかり、転倒してしまい右膝を負傷。	45	2	521	1~9
			9~	工場内にて、卓上ボール盤を使用して、鉄板の穴あけ作業中、穴あけした鉄板をボール盤の台より動かそうとしたところ、右				10~

37	2017	6	10	手薬指の先端が誤ってボール盤のドリルの先に引っ掛かり、そのため右手がドリルに巻き込まれ、右手薬指を負傷した。	54	7	152	29
38	2017	6	16～ 17	梱包作業場の中にある運搬用道路にて被災者が移動中、工場内物流運搬台車と両方向より鉢合わせとなり、被災者はこれを避ける為、道路右側に回避行動をとった際、支柱（鉄製のパイプ）に右手の小指側をぶつけた。	29	3	362	300 ～ 499
39	2017	6	13～ 14	工場内にて、チューブカット機を使用してチューブを切断している時、チューブが機械出口で詰まり、機械を止めずに詰まったチューブを除去しようとした際、右手親指・人差指の指先を切断した。	43	8	159	30～ 49
40	2017	6	9～ 10	絶縁ゴム製品をモールドする設備で、材料となるリールに巻かれた帯ゴムを設備スクリューに挿入する作業で発生したものである。設備へ投入時、右手に装着していた手袋を取って、帯ゴムを持ちスクリュー投入口へ持っていった。しかし、フィードローラー手前で帯ゴム同士が密着していることに気づき、引き剥がそうと咄嗟に手袋をした左手を出したところ、帯ゴム同士の層間に、着用していた手袋の親指部分が挟まれ、そのまま左腕が巻き込まれる状態となり被災した。	50	7	169	50～ 99
41	2017	6	16～ 17	被災者は、工場内でエアプレス1機をセット中に、上部レバーと本体の間に左手小指の腹を挟み破傷し、病院にて傷口を縫った。	59	7	154	1～9
42	2017	6	11～ 12	入社して実業務3.5日目の午前中に、銀シートが入ったダンボール（400×400×100、重さ20kg）を開封する為、パレット（高さ150）に載った所から床面へと降ろそうと、両手でダンボールを持ち上げた時に、左手首に違和感があった。以降の作業においては、左手首から前腕内側にかけて痛みが伴っていたが、作業を継続した。家に帰ってからは痛みのために	43	19	611	1000 ～ 9999





50	2017	3	8~9	装置メンテナンス作業中、チャンバーとヒンジ部の位置ズレのトラブルが発生し、位置ズレを修復するために、タンバーを取り外す作業が発生した。ダンパーを取り外した際に、チャンバーリッドが落ち、ヒンジ部に小指を挟み骨折した。	39	7	169	1000 ~ 9999
51	2017	3	12~13	被災者は、派遣先にて子基盤のハンダ付け業務に就いていた。クリーンルーム内で会社指定の静電靴をはいて作業していた際、静電靴をはいて廊下を歩いていたとき、靴の底が滑りにくいため床の摩擦で引っかかり転倒しそうになった。とっさに壁に左手をついて転倒を防ごうとしたが、勢いが強かったためそのまま左肩を脱臼した。	43	2	417	100 ~ 299
52	2017	3	15~16	旧工場から新工場へ走りながら移動している際、通路の段差につまずき転倒し、手をついた時の衝撃と肩を地面にぶつけたことで負傷した。	46	2	417	—
53	2017	3	13~14	出庫ヤードにて、フォークリフトによる原料の搬入作業と雪による倉庫床面のタイヤ痕清掃作業を2人1組で行っていた。清掃作業員が出庫ヤード内のグレーチング部分でモップの水切りを実施中、バックしてきたフォークリフトと接触し、右足を挟まれ骨折した。	38	6	222	100 ~ 299
54	2017	2	14~15	工場（仕上工程）内で、切削機械の注油部ノズルの先端を触って、油缶を調整しようとし、手袋をした左手を近づけた時、回転していたカッターで左手人左飛指を負傷した。	46	8	159	30~ 49
55	2017	2	8~9	書類を書くため眼鏡を取りに会社内の階段を下りた際、最後の1、2段を踏み外して負傷した。	69	1	413	10~ 29
56	2017	2	20~21	派遣先である事業部内の作業場で空のラックを移動させようとした時、ラックのタイヤが横向きに向いている状況で動きにくかったため、勢いよく手前に引いて動かそうとしたところ、ラックが倒れてきて下敷きになった。	35	6	362	30~ 49
				交差点を青信号にて右折待ちし、対向車が通過の後右折を実施				

57	2017	2	14~15	した。右折中に左方確認の次に右方確認して進み、視線を正面に戻した際には、左方からの歩行者に気付いてブレーキを掛けたが間に合わず、歩行者に衝突した。（横断歩道上かは不明）右方確認した際の視認が出来ていなかった。	53	17	231	1~9
58	2017	2	19~20	作業機で、作業の片付けをしている時に、パイプカットに使用していたアートカッターの保護キャップが半挿しになっていることに気が付き保護キャップを置くまで押し込もうとした。手元まで持って来た際は、保護キャップは付いていたが、手元から目を離した間にキャップが脱落した。キャップの脱落に気付かず、左手のひらに刃先を押し当てた。	42	8	364	50~ 99
59	2017	2	20~21	派遣会社送迎バスにて入社時、送迎バスにて入社時に、バス降車後数歩歩いた後、ふらつく様に転倒した。その際、駐車場アスファルトにて顔面を打ち付け負傷した。被災者には持病（糖尿病）があり過去にも低血糖状態となり、何度かふらつきを発症している。	49	2	921	500 ~ 999
60	2017	2	14~15	工場内にて塗装前処理作業で、鉄板で作った箱体の被膜を取る為に脚立に乗りシンナーで拭いていた時、足下を確認せずに移動したため足を踏み外して脚立から落下し、頭を強打した。	64	1	371	10~ 29
61	2017	2	20~21	工場建屋内のパネルメッキ工程において、パネルメッキの治具ストックヤードで玉突きが発生した。詰まった治具を取り出す際に誤って治具を噴流ポンプ配管に接触させてしまい、配管を破損した。破損部分より薬液が噴出し、身体全体に薬液がかかり、眼内にも薬液が入り炎症を負った。	54	12	514	100 ~ 299
62	2017	2	19~20	完成品を配送車で運び積荷を車から降ろし、車内を清掃中車内の天井に頭を打った。	66	3	221	50~ 99
63	2017	2	5~6	入社時、会社駐車場内を玄関に移動中、凍結路面で足をとられ、尻もちをつき仰向けの状態で後頭部を強打する形で転倒した。	52	2	417	30~ 49

64	2017	2	3~4	構内道路をホイロローダーで除雪している際、バケットが道路を横断しているグレーチングに引っ掛かり急停止し身体が前に投げ出され、フロントガラスに頭部をぶつけた。	63	3	141	300 ~ 499
65	2017	1	9~10	前日からの雪がまだ残っており、出勤時、工場内の従業員入口側が影になっていて地面が凍結していて注意しながら歩いていたが、凍結した地面で足を滑らせ転倒し、右手を突っ張り、右手首を骨折してしまった。	55	2	418	100 ~ 299
66	2017	1	20~21	駐車場の側溝に足を取られて右手をついたところ、右手首を骨折した。	53	2	418	100 ~ 299
67	2017	1	5~6	第三駐車場横歩道にて退社するため、第二駐車場に駐車した自転車に向かって歩行していたところ、底面がフラットなブーツを履き、両手に荷物を持った状態で凍結したアスファルト上を歩行中、左足を地面についた際に滑って前方へ蹴り出すような形になり、荷物を持っていたため受け身が取れず、お尻から転倒し、地面に強く打ちつけ、尾てい骨を骨折した。	47	2	719	100 ~ 299
68	2017	1	14~15	被災者は、弊社工場内にある自動ラベル貼付機による作業中に、作業の終了した製品が収納されているトレーが装置エレベーターに載って自動降下中にも関わらず、本体カバーを開け当該トレーのみ取り出そうとしたために、誤ってエレベーター板ごと掴んでしまい、降下したエレベーター板と装置本体の間に左手薬指を挟まれ被災してしまった。	54	7	169	—
69	2017	1	12~13	検査室内において、製品の電気漏れ確認のため機器（絶縁耐圧絶縁抵抗計）を設定していたとき、output側から垂らしていたリード線のワニ口クリップに右拇指が接触した際に感電し、右拇指から肩にかけて負傷した。	47	13	359	—
				作業室内にて植木鉢用の台を作成するため、電動丸鋸を用いて				

70	2017	1	9~ 10	細い木材を裁断中に木材の節（ふし）に刃がかかった際、キックバックが起きて刃が戻ってしまい、木材を抑えていた手がズレて刃に触れてしまった為、左手中指の指先を1~2cm程度切ってしまった。	74	8	131	1~9
71	2017	1	8~9	構内駐車場に車を止めて、従業員玄関前を歩行中に、凍った路面に足を滑らせ転倒し、臀部を強打し、骨盤を骨折した。	58	2	719	100 ~ 299
72	2017	1	8~9	工場敷地内の駐車場から従業員玄関へ徒歩で移動しているとき、雪道で右足が滑り、左足で支えようとしたところ左足も滑り、足先が外に向いてそのまま転倒した。大型の除雪車（ブルドーザー）で除雪した雪道が、所々滑りやすくなっていた。	41	2	719	50~ 99
73	2016	12	8~9	屋外トイレへ向かう際に、トイレ入口前の段差に片足をのせた時に足を滑らせ転倒した。その際、右大腿部から臀部を段差に強打し、右足大腿骨を骨折した。	51	2	417	500 ~ 999
74	2016	12	11~ 12	工場1階の工機部作業場にて、CM機の定期修理のため、送り台の摺動面をすり合わせる作業中、すり合わせ面を定盤にて確認しようとしてバイスから取り外そうとしたが、バランスを崩し摺動台を落下させた。その際に、素手で鋭利な部分をつかんだために右親指付け根を切創した。	31	4	379	1000 ~ 9999
75	2016	12	9~ 10	ものづくり実験室にて、金属顕微鏡の使用方法を教えてもらうため、作業椅子に座って待っていたところ、ローラーがついている作業椅子が後方へ移動したことに気づかずに転倒した。	57	2	921	1000 ~ 9999
76	2016	12	11~ 12	倉庫内にてPCで保管文書を作成作業中に、社用車にUSBメモリを取りに向かうため、作業を中断して歩き始めたところ、床に突出していたアンカーボルトに左足が引っかかり、転倒した。その際、左足薬指のつけ根部分を強打した。	52	2	417	1000 ~ 9999
				油圧プレスで製品を曲げる作業をしていて、製品を金型にセッ				

77	2016	12	16～ 17	トする際に誤ってペダルを踏んでしまい、上型と下型に右手人差指を挟んでしまった。	43	7	154	50～ 99
78	2016	11	10～ 11	事業所内2階動力室ボンベ倉庫の点検業務を終え、3階の薬品倉庫の点検へ向かうため、2階非常階段踊り場から3階へ階段を上り始めたが、1～2段上がったところで突発性失神によって気づいたときは踊り場に倒れていた。	52	2	413	1000 ～ 9999
79	2016	11	12～ 13	事務所で歩行している時、昼休み中で室内の照明が消えている状況で通常は物が置かれていない所だが、机の前に置いてあったプラスチック製のオレコンにつまずき転倒した。	45	2	417	300 ～ 499
80	2016	11	17～ 18	社屋内で、業務を終了し帰宅するため階段を下りていた際、足を踏み外して滑り落ち転倒した。	48	1	413	100 ～ 299
81	2016	11	9～ 10	2人作業で機械に材料をセットした後に相手からプレート受取時、本来両手で持つものを左手のみで持っており、互いのプレートを離すタイミングが合わず左手をひねった。	35	19	521	100 ～ 299
82	2016	11	12～ 13	加工技術研磨係にて、三連研磨機に切断後の鉄製パイプを挿入中、パイプが引っ掛かり急回転し、パイプ切断面のバリが手袋に引っ掛かり右手第二指第一関節下部を裂傷した。	39	8	521	100 ～ 299
83	2016	11	11～ 12	工場内に於いて、ケーブルコネクター圧着機にて圧着作業中、ケーブルの部分がテーブルに掛かり、右手でケーブルを持ち、左手でコネクターを差し込んだ時、誤って、左手示指を圧着機に入れてしまい、その際、自身の右足でスイッチを押してしまった為に、左手示指を挟み負傷した。	37	7	169	50～ 99
84	2016	11	14～ 15	プレス工程において、2名で作業中にプラテンにズレが発生したために、他の作業者とプラテンのズレを持ち上げて修正中に、プラテンが手の甲にあたり怪我をした。	37	7	521	100 ～ 299
				作業現場からゴミ置場にゴミを捨てに行き、ゴミ分別で種類の				

85	2016	11	14～ 15	違うゴミを捨てに更に移動していた時に、トラックヤード方向へ小走りで移動中、トラックヤードが省エネにより照明を落とし、薄暗かった為、通路に出ていたフォークリフトの爪が見えずにつまずき、コンクリート床に体の左側面を打ち付けてしまい、負傷した。	53	2	417	50～ 99
86	2016	11	14～ 15	洗浄室にて製品の入った箱を両手で持ち、移動中に足を台車に引っ掛け前に転倒。右ひざをコンクリートの床に打ち付け骨折した。	64	2	417	100 ～ 299
87	2016	11	10～ 11	シリコンウエハーの洗浄、検査工程の作業にて、エレクターに乗っている製品収納ケースを両手で持ち上げ、レーザーマーク読み取り装置のボートにセットしようとして移動する歩行中、躓き転倒した。	59	2	169	100 ～ 299
88	2016	11	17～ 18	駐車場において、帰宅しようとして駐車場に向かっている際に暗さで周囲が見えず、駐車場と田んぼの間の側溝に落下し、頭部を負傷した。	48	1	417	50～ 99
89	2016	11	19～ 20	箱からターボを持ち上げてカートへ移す開梱作業中、重量物の為個数が多いときは通常リフトを使用して持ち上げるが、この時は手で持ち上げていた為、業務終了後自宅にて腰に痛みを感じ、翌日から痛みが増した。	40	19	611	50～ 99
90	2016	11	10～ 11	装置内吸着エラー発生削減のため、試験的に装置上部に真空ポンプを増設しようとして脚立を使って作業をしていた。一旦真空ポンプを装置上部に置いて、設置位置を修正しようとしたところ、バランスを崩して後方に落下し、右踝を骨折した。	49	1	371	500 ～ 999
91	2016	10	19～ 20	帰宅のため会社のシャトルバスに乗ろうとしたが、バスが発車しており、次の乗車場所まで走ってバスを追いかけた時、途中で転倒し、左足のアキレス腱を断裂した。	39	2	417	300 ～ 499
			16～	加締め工程において、加締め作業のためワークを加締め機へセットしSW-ON後、加締め部付近にゴミを発見した。そのゴ				500

92	2016	10	17	ミを取り除こうとして、加締め部とワークセット部の間に左手人差し指の先端が挟まれ、被災した。	47	7	159	～ 999
93	2016	10	13～ 14	昼休憩が終了し、搬入口に戻り雨どい横に置いていたヘルメット等を取り、雨どいを跨いだ時にバランスを崩し転倒した。その際、右足脛をコンクリート角にぶつけ負傷した。	42	2	416	～ 9999
94	2016	10	22～ 23	基板の検査場ラインで治具を台車に載せて運搬していた時、室外から持ち込む空箱のフタ上部に拭き残しの雨水が少し残っており、その水が床にこぼれ床の一部がぬれていた。ぬれている床に気付かずその上を歩いてしまい、すべって転倒し左足首の靭帯を損傷した。	28	2	416	500 ～ 999
95	2016	10	17～ 18	工場で液更新作業中に硝酸が左足親指にかかった。	27	12	519	30～ 49
96	2016	10	14～ 15	作業場でエアーがけをしていた。机の上に箱を移動させようとパレットの上へのぼったところ、パレットの隙間に足が挟まり後ろに転んだ。その衝撃で腰を痛めた。	49	2	379	100 ～ 299
97	2016	10	9～ 10	ピッキングエリアで材料のピッキングを行っていた。作業場の後方にたたんだダンボールを入れるカーゴ台車と、その前に空パレットが立てかけてあった。別の作業者がカーゴ台車からダンボールを取り出す際、ダンボールがパレットに接触し、パレットが倒れ、被災者の右足ふくらはぎにぶつかった。	43	4	379	100 ～ 299
98	2016	9	8～9	工場検収室において、製品の出荷検査を行う為、平台車に5段積の完成品箱の上から順番に1箱ずつ降ろしていた。上から3段目の箱を持ち上げたところで腰が痛くなった。	41	19	611	100 ～ 299
99	2016	9	11～ 12	太陽光発電用パワーコンディショナのユニット組立作業中、組立ラインが2つあり、作業者が扇風機の本体のみ隣のラインへ移動し、配線が床をはっていた状態で、作業者が手待ちになり、隣のラインに移動し、その後再び元のラインに戻る際、	51	2	359	100 ～ 299

				誤って床をはっていた配線に足を掛け、前のめりに転倒し左腕を骨折。				
100	2016	9	9～ 10	朝、取引先の建物に入ろうとした際、雨で渡り廊下が濡れていたため足元が滑り、転んでしまった。その時左膝を強打。	54	2	417	50～ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。